

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム紅葉館（一階）	評価実施年月日	平成19年10月1日
評価実施構成員氏名	佐竹 亮、荒木 紀明、佐藤 保範、清水口 卓司		
記録者氏名	荒木 紀明	記録年月日	平成19年10月12日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

□は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	①入居者の意欲や関心を尊重し可能な限り、自立した暮らしが出来る様に支援します。②入居者が円滑な共同生活の中で安心した生活が出来るグループホームを目指します。③地域住民と出来る限り、積極的に交流を図り地域社会の一員としての立場を理解し地域貢献していきます。		理念に基付き、実践しています。
2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	職員が一丸となって理念に取り組む体制として、掲示箇所を多くし確認できる様にしています。会議や新人教育時にも、理念について説明をし理解をして頂く配慮をしています。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	自由にホームに来館していただける様開放し、管理者より来館時には内容等の説明を実施しております。		なるべくホームに足を運んで頂く為に、行事や会議等のご案内をさせて頂いております。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	散歩や近所付き合いの中で交流を図り、挨拶をまめにする様に実施しています。又、地域行事には出来る限り参加をし、グループホーム内容を理解して頂ける様に実施しております。		少しずつ地域の方々と交わっており、良い関係が作られていると思います。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会参加や、ホーム行事に参加を頂、馴染みの関係が作れている。		少しずつ地域の方々と交わっており、良い関係が作られていると思います。
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内会の中で、介護保険に関してや介護でお困りの方などに対して相談窓口として活動中です。		ご意見も少しずつ増えており、今後も継続していきたいと考えております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>管理者、職員共に自己評価・外部評価の内容理解し改善に取り組んでおります。</p>		左記実施中です。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>実施した結果を基に、出来る限りご意見を生かせるよう努力しております。</p>		実施後の、意見反映に取り組みたいですと思っておりますが、実際には出来ておりません。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいます。</p> <p>市町村等の支援を受けて、会議に参加したりサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		左記実施中です。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>実施したいと思っておりますが、現在の所実施出来ておりません。</p>		実施出来る様にこれから勉強したいと考えております。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待の意味や具体性に対して取り組む体制を作っています。</p>		左記実施中です。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>説明し、理解・納得を図り、家族等の不安や疑問点に対して説明に努めております。</p>		左記実施中です。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コミュニケーションを多く取り、意見・不満・苦情に対して確認し、改善に努めております。		左記実施中です。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月に一度生活状態が解る様に、広報誌を送らせて頂き確認してもらっています。又急な状態変化があった場合には、電話等にてご報告をさせて頂いております。		左記実施中です。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族等が意見、不満、苦情等を確認した場合は速やかに対処し、改善に努めるよう努力しております。		左記実施中です。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議等で確認し、意見や提案等を聞いております。		左記実施中です。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	状態変化には速やかに対応出来る様にしております。		出来るだけ、職員の状況に合わせた勤務表作りを実施しています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	なるべく職員には定着して頂く様に支援しておりますが、内情は上手く行っていないと感じます。		職員には疑似家族を想定した介護を実践したいと考えております。これが理解できない方が多く困っている現状です。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部の研修や、自己学習を実施し職員がスキルアップ出来る様に努めております。</p>	<p>左記実施中です。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>交流を通じ質の向上に役立てる様にしております。</p>	<p>左記実施中です。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>取り組み体制を考案中です。</p>	<p>各職員の状況確認を実施しております。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職務を通じて各職員がどれ位出来ているかを確認し、向上心が芽生えるように援助しております。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>本人様と面談を多くし、何を求めているのかを理解したなかで、改善に努めさせて頂いております。</p>	<p>左記実施中です。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>面会時・来館時などに話をさせて頂き、要望等を確認させて頂いております。</p>	<p>左記実施中です。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談内容を理解し、整理した中で支援体制を取る様にしております。		左記実施中です。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	環境に慣れて頂く前には、家族様に介入して頂き、相談の上行っています。		左記実施中です。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	御入居者様の立場で物を捕らえ、対応させて頂いておりますが、時として一方的になってしまうことがあります。		職員には、もし自分だったらどう介護されたいか？をテーマにしています。本人の本当の気持ちを知るべく努力して頂いております。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	信頼関係が築けるように、日々努力して生活を共にしたいと考えます。		行事や外出時に、ご家族様の協力を得られるように取り組んでおります。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族様にもご一緒に楽しみながら参加していただけるホームにし、入居者共々住みやすい環境を提供したいと考えます。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまで関わりがある場所や人との関係を理解し、対応させて頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個人を理解し関係を考え、黒子的に影ながらサポートさせて頂いております。		左記を実施中です。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	左記を心得、実施したいと考えております。		左記を実施中です。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランを立ち上げる際に、個人の希望や意向を確認し反映させられる様に検討しています。		左記を実施中です。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御入居時には、今までの生活状況などを家族様や他のサービス事業所様と連携し確認させて頂き、把握に努める様にしています。		左記を実施中です。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個々の状況を確認し、出来る事をどの位して頂くかを検討させて頂いております。		左記を実施中です。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人がより良く生活して頂く為に、各立場からの意見を確認し総合的に判断させて頂いた内容により介護計画を立案させて頂いております。		チームでの会議や定期的な意見交換を実施し、計画に盛り込んでいける様にしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画にある事柄を定期的を確認し、問題や変化に対応しながら職員間で、会議等を実施し内容を把握しながら、介護支援専門員の監修の下で具体化をはかっています。		計画を立て、理解して頂ける様に説明をさせて同意を得るようにしております。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケアに対し記録として事実を記入させて頂いております。又、計画立案時には内容確認等の為に見直しをしております。		事実を確実に記入させて頂き、今後の参考になる様にしております。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	実施状況がありません。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の資源として、活動時には協力体制をひいて実施させて頂いております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域支援の中で、居宅支援事業所様や包括支援事業所様と連携をもってサービス利用の際には確認させて頂いております。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	上記同様		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	支援しております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	適切な判断を専門医に実施していただける体制があります。		定期的に往診や受診により指示が受けられていますので、活用させて頂いております。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	適切な判断を看護師(訪問により)に実施していただける体制があります。		看護師より気付きや変化に対応すべく、アドバイスを頂いており、職員と一緒に指導を活かして行きたいと思っております。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、専門医から説明を受け早期退院に向けて努力をして頂いております。情報交換等は速やかな体制にて、対応させて頂いております。		早期退院を心がけて頂いております。入院時には、情報を速やかに確認し家族様へご報告する形をとっております。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	終末ケア体制については、家族様やご本人様のご意向と、専門医などからご意見を頂き、全職員にて対応させて頂いております。又、ホームで対応できない場合には、地域の福祉施設と連携をとり対応いたします。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	実施していく体制がありますが、現在は職員のスキルアップをはかっている状態です。		重度化や終身介護を見通して、職員のスキルを上げて行きたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住替えによるダメージを防ぐことに努 めている。	ご本人様やご家族様の情報を活用し、実施していきたいと考えます。		情報を活用して実施していきます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる ような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取扱いをしていない。	個人を理解し他者との関係を考えて接し方を、させて頂いております。		個人情報に気を付け実施したいと思います。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている。	個々の状況を確認し、選択出来る様に支援させて頂いております。		今後も実施していきます。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している。	生活パターンを理解し、なるべく希望に添えるよう努力していますが、職員のペース に成りがちです。		職員の働きかけで、リズム良く生活をしていける様に配慮しております。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援し、理容・美容は本人の望む店 に行けるように努めている。	外出時など、おしゃれをして頂いたり、理美容も本人に確認しながら実施しておりま す。		本人の好みや趣味を通じて、日々おしゃれをして頂ける工夫をしています。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員がその人に合わせて、一緒に準備や食 事、片付けをしている。	個人の好みや季節の美味しい物などを確認し、食卓に提供させて頂いております。		好みの確認や調理の方法など確認して、皆様に喜ばれる様に実施して いきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	個人の好みや好きな物などを確認し、日常的に楽しめる様にしております。しかし、医師や看護師から制限のない方に限らせて頂いております。		本人の身体状況により、対応させて頂いております。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄など、お一人お一人違うパターンなので、記録に記入し観察をさせて頂き、スムーズな誘導を心がけております。		可能な限り自立した状況を目標にしております。心地よい生活環境を理解して個々の把握をして実施している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	職員には、本人の入りたい時に入浴して頂く様にしてはおりますが、時に何日も入らない入居者に対しては職員から働きかけを実施しております。		希望を確認し、出来るだけ本人の意思にて実施したいと考えます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	昼夜逆転にならない様に、時々午睡なども実施しています。		日中の活動内容を充実させて、夜間は休める様にケアしたいと思います。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個人の能力を最大限に引き出せる様、出来る所は自身で実施して頂き、生活中での生きがいや役割を明確にしてあります。ただし、無気力になりがちで何もしたがない方も多く少しずつ支援しております。		行事や季節の事柄を中に取り入れ、生きがい作りを実施したいと考えます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	小額では有りますが、自身で購入したり買い物をする楽しみを知って頂いております。又遠方の家族様からのご依頼で預かり金がある方もいらっしゃいます。		これからも、実施して行きたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	職員配置で余裕がある場合は、個人の希望に沿って散歩や気晴らしに出かけております。しかし、常に行けてはいません。		気軽に散歩が出来る雰囲気を作って行きたいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	現在実施しておりません。		現段階では実施しておりませんが、状況に応じて考えたいと思います。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	左記を心得、実施しております。		電話などで話しが出来ない場合や、介助を必要としている場合は、中間に入り、よりスムーズに会話出来る様に考慮しております。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	時々、入居者の御友人や家族様の親戚等、来館されております。館に気安い雰囲気を作りたいと考えます。		訪問時に、ゆっくり寛いで頂ける様に心がけております。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を正しく理解しケアの実践にて、けてして拘束をしないでケア出来る様に取り組んでいきます。		拘束に対しての定義を理解し、職員に対して意識を促して行きたいと思っております。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	なるべく施錠しない様に実施しておりますが、1階に限り、市と相談の上、両サイドから施錠出来る形にしました。(離ホームの経験から)夜間は職員が帰館後、施錠しております。		現状を把握し、改善に努めます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	配慮しながら、実施しております。		心地よい生活環境づくりをもつと、実施したいと思います。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	裁縫用の鋏や、針などの管理はさせて頂いておりますが、基本的には個人管理をして頂いております。		管理・保管を徹底していきます。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	自己事例に対して、カンファレンスを持ったり、検証してヒアリハットを生かす様に訓練しています。知識はあっても、使えない状態です。		訓練を定期的にし、すぐ対応出来る様に準備して置きたいと思います。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急時対応マニュアルはあるが、実際体験していない職員が多く、不安があります。外部の救急講演会に参加したり、館内でも実技指導を実施しています。		より多くの体験をして頂き、敏速に対応できる様に訓練して行きたいと思います。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	対策としては有りますが、実践にて実施しておりません。		消防訓練なども、時期を見て実施したいと考えます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	入居時に管理者から、様々なリスクに対して説明をさせて頂いております。又日々起こりうる事なので、発生時には速やかに対応する様にさせて頂いております。		発生時は迅速に対応し、ご家族様にはご報告と同意をさせて頂いております。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	病状や体調変化など早期発見に努め、家族様に対して報告をさせて頂き、対応しています。また、面会時にはご家族様に対して、こちらの状況を説明させて頂いております。		日々の変化に気を付けてケアを実施しております。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の管理は徹底しております。又医師や看護師からの注意事項や薬剤師のアドバイスを受けております。		薬に対しては、誤薬がない様に介助時には特別気を付ける様に指導しております。又その効果についても、良く理解しなければならない物なので、確認しながら職員に説明しております。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	生活の中で自然に排便等が出来る様に、支援しておりますが中には服薬にて管理している方も居られます。食事と運動のバランスを考え、日常生活をして頂いております。一階については、運動が出来ない方やしたくない方が多く個別でのリハビリを実施させて頂いております。		排便の周期や体調の状況などにより、対応させて頂いておりますが、出来るだけ自然に出来る様に促しております。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人一人の状況に合わせて、声かけや部分介助にて支援しております。		口腔ケアの必要性を理解し、個々の能力に合わせた介助を実施させて頂いております。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個人の習慣や状態に応じた対応をさせて頂いております。また、歯科通院時にはご指導を受けております。		記録や聞き取りなどを通じ理解を深め、ケアにあたっております。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防対策は、病院の医師や看護師の指示にて実施させて頂いております。		感染は介護者側から広めてしまう事も多いので、感染防止の手順などを職員に徹底させながら、感染の怖さを知って頂く様にしております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食中毒や衛生管理は日々徹底させて頂いております。		日課の中で、確認する習慣と日々可能性を考えて、事故が起きない様に消毒や調理法などにも工夫しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関回りは、入りやすい雰囲気を作る様に努力しておりますが、1階のみ離ホーム対策として、両側から鍵が掛けられる様になっています。		死角をなるべく作らない環境づくりを実施したいと考えております。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	なじみの空間作りを考え配置しておりますが、まだ工夫が必要と考えます。		なじみの物への対策は、今後も実施したいと考えます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	なじみの空間作りを考え配置しておりますが、まだ工夫が必要と考えます。		環境を活かし、個々の能力が低下しないように気を付けて行きたいと思っております。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	生活上必要とされる物は、家族様と相談して配置する様にしております。		個々の能力を判断し、出来ないことへのサポートを実施したいと思っております。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	実施させて頂いております。		土いじり等、なじみの在る楽しみにより、生活のメリハリが付いて来ました。今後も収穫祭などを実施して行きたいと考えます。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個人の能力に応じ、出来るだけ自立をして頂く様に日常生活の中で工夫しております。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ケアプランや状況把握により、理解を深めながら(わかる力)生活に活かして頂き、混乱なく対処いたします。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	家庭菜園や花壇作りなどを通じて、趣味や楽しみを取り入れながら生活して頂いております。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ○ ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ○ ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ○ ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ○ ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)